

令和2年9月30日



横浜市立富岡小学校

学校だより10月号



後期に向けて ～本校の学校行事～

校長 浅野 修一

あんなに暑かった夏も、あっという間に秋の風に変わりました。朝は20℃を下回る日が多くなり、夜のBGMも心地よい虫の声が聞こえてきます。学習にもスポーツにも絶好の季節となりましたが、昨今のコロナ禍の影響で、学校でも通常の思い切った活動ができていません。しかし、巷ではワクチンや治療薬のニュースも聞こえ始めてきました。少しずつ、状況は出口に向かっていると感じます。

あと1週間ほどで前期が終了します。実質的には6月から始まった今年度でしたが、無事に4カ月が過ぎようとしています。この状況の中、子ども達はそれぞれ様々な思いをもちながらも、一生懸命がんばっていたように思います。保護者、地域の皆様には、そんな子ども達を支え、励ましてくださったこと、心より感謝申し上げます。

さて、前期に引き続き12日から後期が始まります。後期は、以前にもお知らせした通り、これまで延期、または内容を変更した各種行事を開催する予定であります。学校としてまず第一に考えなければならないことは、「子どもをコロナウイルスに感染させないこと」です。そのために、全ての行事を中止にするという選択肢もありました。しかし、子ども達にとって「今」しかできない、「一生に一度」しかできない経験を奪ってしまってもよいのだろうかという議論が常にありました。これには運動会や修学旅行、宿泊体験学習、発表とみおかタイムなどが挙げられます。これらの行事は、子ども達が非常に楽しみにしている行事であり、かつ教育的価値も高いと考えております。特に修学旅行などは、6年生にとって一度しかない機会、小学校最後の機会となります。コロナ禍と言われる現状ですが、できる限り万全の感染防止対策をとった上で、子ども達にこの貴重な経験の機会をもたせることはできないかと検討を重ねてまいりました。そして、今年度は運動会と発表とみおかタイムは開催方法や時間を変更して、修学旅行は宿舍貸切やバスの台数倍増などの感染防止対策を行って、実施する予定といたしました。また4、5年生の宿泊体験学習は、宿舍の貸切ができなかったことなどに鑑み、バスの台数倍増の上、日帰りでの活動に変更いたします。もちろん、これらの行事に参加することに不安を感じている児童や保護者の方がいらっしゃるかと思います。遠慮なく学校にご相談ください。なお授業参観や懇談会など、その他の行事につきましては学校だよりやプリント等でお知らせいたします。

出口に向かっているとはいえ、今後このコロナウイルス感染がどのようになっていくのか、現時点では予想できません。上記の予定についても、状況によって変更になる場合がありますことをご承知おきください。今後も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。